

# 本書の特徴

## ❖ 本書の対象者 = こんな人にお勧め

本書は「和文英訳」の基礎がある程度身についた方で、もう少し上級の「和文英訳」の練習をしたい人向けに執筆したものである。国公立大学や上位の私立大学を目指す受験生はもとより、社会人で英語をブラッシュアップしたいとお考えの方、すでに英語を教えておられ、作文の指導法を模索中の先生方にも有効な内容となっている。

英作文は、単語力・単語の使い分け・英文法などの総合的な力が要求される。本書に取り組む皆さまには、すでに英文法の基礎的なことは一通り勉強していることを期待したい。とは言え、英文法は、ひたすら文法書を紐解いているよりも、作文をやることで初めて本質的に理解されるものであるから、英文法が完璧でないからといって敬遠する必要もない。

## ❖ 本書の効果

本書は上級者向けではあるが、所々に基礎力の確認となる文も収録してあるので、本問をすべてこなすことで、基礎から応用までの幅広い学習が可能である。作文の学習は、暗記50%+応用力50%と考える。本書はその両方の力がつくように構成した。学習者は、本書を通して暗記すべき箇所はしっかりと暗記してもらい、文章構成を考える段では〈要点と方針〉に書いたことを参考にしながら、自分の語彙力で書き上げる工夫をしてもらいたい。この暗記と構成力の習得によって、和文英訳力は飛躍的に向上することを保証する。なお、本書に収録した英文はすべてネイティブスピーカーであるバーナード先生にチェックをいただいているので、安心して復習用の暗記例文としても活用してほしい。

なお、文法事項で特に大切なもの、伝統文法では教わらないような項目を、序章としてまとめておいた。簡潔な文法チェックに役立てていただきたい。

## ❖ 本書に収録した問題について

上級の和文英訳は課題となる日本語も長いので、何かをテーマにした文章が選ばれることが多い。そこで、英文法項目別よりもテーマ別に学習する方が効果的である。本書は頻出のテーマ12章で構成した。収録した48題はどれも厳選に厳選を重ねた末に選び抜いた問題である。この12章こそすべての和文英訳問題の対象となるテーマであり頻出項目である。安心してじっくりと取り組んでいただきたい。